

国の高校教育改革に関する基本方針（グランドデザイン） を踏まえた改革先導拠点として 申請していた4校すべてが採択されました

香川県教育委員会が、令和8年5月15日及び8月10日に文部科学省へ申請を行っていた「産業イノベーション人材育成等に資する高等学校等教育改革促進事業」について、申請していた県内4つの高校すべてが「改革先導拠点」として採択されました。本事業は、2040年を見据えた高校教育改革を先導する拠点を創出し、その成果を県内全体へ普及させることを目的としています。

「産業イノベーション人材育成等に資する高等学校等教育改革促進事業」の背景
2040年の香川県においては、現場人材の不足、理系人材の不足、文系人材の余剰といった人材需給ギャップが生じることが予測されています。これらの課題に対して、各都道府県に設置される「高校教育改革促進基金」を活用し、産・官・学・地域が強固に連携しながら、下の3つの類型に応じた教育改革を推進します。

【類型1】専門高校の機能強化、高度化

多度津高校

- ✓ 次世代スマート水産拠点「マリン・ラボ」の構築
- ✓ ホンモノの社会課題を学科横断、産学官協働、現場で解決する学習
- ✓ 工業の高度インフラものづくり実習＋海事産業を幅広く学ぶ取り組み

農業経営高校

- ✓ 「高度環境制御スマート農業施設」の整備
- ✓ 「稼げる農業」を目指すアグリビジネスの探究
- ✓ 大学、研究機関、企業等と連携・協働した実践的学びの充実

【類型2】文理融合人材・理数系人材育成

丸亀高校

- ✓ リアルとホンモノで学ぶ進学校へと進化
- ✓ 理数系探究、AIやデータ駆動の文理融合探究の充実
- ✓ 理数・情報の面白さ・有用さを目覚めさせるカリキュラム

【類型3】地理的アクセス・多様な学習ニーズに対応した教育機会の確保

小豆島中央高校

- ✓ 「地域まるごとラボシステム」で、島全域を活用した社会実装の学び
- ✓ メタバースと遠隔技術で、離島でも学びの選択肢を拡大
- ✓ メンターや進学に向けたサポートで進路を切り開く